



114
A 3637



聖記

大正十一年四月
大隈侯爵邸

辛未十二月三日於延遠館與地利院約不書
交換後仰輔と壤地利公使對話大意

寺崎曰

道曰り立右と維也納府情覽會と會社以解

と趣ありな、

公使曰 諾先の此友おあけの博覧會の利益二つ

十行自



あり其ハ貴國人各國の奇品珍物を尤も
 大ニ之を^得其一を我國人亦之を^得
 あり是兩國を允稱益大ニして開化を
 促すの一助たり今我國を允益ある事ハ
 暫置て論せし其國之得益ある事ハ之を
 畧述せん抑其國之政體頓ニ一変ニ速舊
 習を一洗——西洋各國之風習ニ照準し
 政體を立て^治たり是實ニ可然事ニ

して賞讃を^得と云ふ——此を貴
 國今日之形勢ニ開化之度と進め^極細亞
 洲を勿論西洋各國之其英名を辨し必
 して其者之出ると云ふ人〇過日大使を
 各國に派出せしむるハ諸國之風俗
 形體を洞悉せしむるハ^人趣意ありし
 あり也——是又^{あり}ありし^{あり}也
 各國巡覽ありし^{あり}其入費も莫大あり

盛一なるは互維也此言開き辰觀
場は各國の物品の物を論せし集ま
りて其國の官負を命りて其府に
出—一場言之を熟覽せば一時に各國
の産を知り甲國に乙物を産—西國に
丁物に産あるを知るありて其利益の少
多明るるなり又大なる盛—は多るは
其國に其國にありし各國人より

糸説とすてを交—終ふより其人
の意思或は奸計に真説を得る事
能はる多しは為る展覧會を小見教
育—のしを始の教習開化—るを主とし
て開くが故各國より競ひ集會するあり
豈其國を去りて其の理あるは其
國に其之を行要し思ひ統—也
副首曰
其り學校を盛—教導—りて勉むるハ

実行要と云

公使曰

其他水陸鉄道掘削道路建築電信
 ことりも開化の國に最も宜いもの
 是等事も亦も展覧會に於て又是を感
 とも通じ其入費莫大あり以入費を補ふ
 こと各國皆之を以て之を見込を立各其
 つて是を補理は是等の事も亦も展
 展覧會に於て討論し其事は此法を用

かゝる方便ありある事——物と論じて
 此等も彼國に長き事あり是
 國に長き事あり其他陸軍に
 亦も展覧會に於て亦も軍服の
 制最も可なり軍器も國最便捷
 ありと鑑定を以て之を得べき也
 ラシヤも某國より之某物を某國に
 名産する人の弁説を以て自ら

交々を子得る——ある之を分国商
人、注文を過バ各自国、利益を行
別物に精組、拘り、利益を得る耳を
主として之を其国に供するあり

右^諸條を實に其國に大利益——此
國人民を富むるに、基本たる金——貴
國人民を富むるに、農工も自ら富進
る、故て、論を待さる、交ある也——

其國ハ土地豊饒あり、自を農業業
を、是れ、大盛りと雖も、山野偏僻
土地に至つても、ふ毛の地亦、所々見たり
之を、開拓を、極力、勿論、都々農
具、以て、展覧場、備は、其、極力、其
國に、適當あり、いふ、より、檢する、是、也、し
其國、山、鏡、山、より、大、之を、開き、故、一、る
其、意、ある、を、知、り、鏡、工、を、何、國、ノ、人物

を雇ふ方々然れ又何等の機械を用
 方よりなる命を定一し
 靡ハ衣類も西洋に買ふ時を價大
 糸糸も此其國にて買ふ時大に不
 是を如何と云ふ西洋に機械
 用いて人力を省く事あり是等も其
 事之關係ある人等一して熟覽せしめ
 其國之利益ある事也

商業之國之益あるを今改論を要せ
 ざる交あり又各國之貿易の条約を
 締約せしむ一上も益商業を盛
 開し強し事ありは各國
 併立し強ふ事難ん今日之ごとく
 各國之條約を結ぶ事一上は彼是
 其國之各其國産を賣買得
 べき也其國人之西洋に航せし

洋人^{（蓋し）}とありて其利を得、^{（蓋し）}

あり啓^{（蓋し）}ハ唇卵のぶ^{（蓋し）}と^{（蓋し）}ハ常國^{（蓋し）}

賣捌れ^{（蓋し）}と益^{（蓋し）}ありし^{（蓋し）}之を其國人自^{（蓋し）}

西洋^{（蓋し）}に携行^{（蓋し）}ハ^{（蓋し）}利^{（蓋し）}必^{（蓋し）}と^{（蓋し）}信^{（蓋し）}を^{（蓋し）}取^{（蓋し）}れ

副島曰

右^{（蓋し）}の事^{（蓋し）}ハ^{（蓋し）}條^{（蓋し）}一^{（蓋し）}と^{（蓋し）}解^{（蓋し）}必^{（蓋し）}と^{（蓋し）}不^{（蓋し）}と^{（蓋し）}題^{（蓋し）}

天皇陛下、奏向と遂^{（蓋し）}至^{（蓋し）}一^{（蓋し）}既^{（蓋し）}、^{（蓋し）}本日^{（蓋し）}の^{（蓋し）}福^{（蓋し）}見^{（蓋し）}

勅諭^{（蓋し）}と^{（蓋し）}趣^{（蓋し）}も^{（蓋し）}あり^{（蓋し）}ハ^{（蓋し）}定^{（蓋し）}る^{（蓋し）}趣^{（蓋し）}も^{（蓋し）}あり^{（蓋し）}ハ^{（蓋し）}一^{（蓋し）}と^{（蓋し）}行^{（蓋し）}

公使曰

多^{（蓋し）}の^{（蓋し）}謝^{（蓋し）}と^{（蓋し）}右^{（蓋し）}も^{（蓋し）}貴^{（蓋し）}國^{（蓋し）}の^{（蓋し）}利^{（蓋し）}益^{（蓋し）}を^{（蓋し）}界^{（蓋し）}述^{（蓋し）}る

た^{（蓋し）}る^{（蓋し）}あ^{（蓋し）}り^{（蓋し）}ハ^{（蓋し）}神^{（蓋し）}西^{（蓋し）}洋^{（蓋し）}に^{（蓋し）}展^{（蓋し）}覽^{（蓋し）}し^{（蓋し）}益^{（蓋し）}あり^{（蓋し）}

論見

既^{（蓋し）}ふ^{（蓋し）}ふ^{（蓋し）}し^{（蓋し）}展^{（蓋し）}覽^{（蓋し）}と^{（蓋し）}西^{（蓋し）}洋^{（蓋し）}各^{（蓋し）}國^{（蓋し）}互^{（蓋し）}に^{（蓋し）}利^{（蓋し）}加^{（蓋し）}

ん^{（蓋し）}も^{（蓋し）}我^{（蓋し）}政^{（蓋し）}府^{（蓋し）}に^{（蓋し）}報^{（蓋し）}告^{（蓋し）}し^{（蓋し）}た^{（蓋し）}る^{（蓋し）}ハ^{（蓋し）}一^{（蓋し）}と^{（蓋し）}皆^{（蓋し）}其^{（蓋し）}

趣^{（蓋し）}意^{（蓋し）}を^{（蓋し）}甘^{（蓋し）}ん^{（蓋し）}じ^{（蓋し）}勉^{（蓋し）}め^{（蓋し）}て^{（蓋し）}助^{（蓋し）}力^{（蓋し）}を^{（蓋し）}盡^{（蓋し）}す^{（蓋し）}と^{（蓋し）}

回^{（蓋し）}答^{（蓋し）}を^{（蓋し）}得^{（蓋し）}た^{（蓋し）}る^{（蓋し）}ハ^{（蓋し）}一^{（蓋し）}と^{（蓋し）}各^{（蓋し）}國^{（蓋し）}の^{（蓋し）}親^{（蓋し）}戚^{（蓋し）}

互^{（蓋し）}に^{（蓋し）}信^{（蓋し）}を^{（蓋し）}結^{（蓋し）}ぶ^{（蓋し）}た^{（蓋し）}る^{（蓋し）}ハ^{（蓋し）}一^{（蓋し）}と^{（蓋し）}百^{（蓋し）}の^{（蓋し）}異^{（蓋し）}あり^{（蓋し）}ハ^{（蓋し）}一^{（蓋し）}と^{（蓋し）}理^{（蓋し）}

あ^{（蓋し）}り^{（蓋し）}一^{（蓋し）}と^{（蓋し）}皇^{（蓋し）}の^{（蓋し）}展^{（蓋し）}覽^{（蓋し）}し^{（蓋し）}る^{（蓋し）}耳^{（蓋し）}異^{（蓋し）}あり^{（蓋し）}ハ^{（蓋し）}一^{（蓋し）}と^{（蓋し）}理^{（蓋し）}

あふん我輩一子親王の事あり
今之を述るもわらあ道と心服を感せし
陳述せん其國と各國条約を結ばた道は
兎角各國の執念を捨て真の交際を
あこるや是他の如く其國の各國の
を好むる各國亦其國の善性をあこる
の政を交りぬ友誼を各國に表し
終ふる要路あふん辟言の樺太を魯西

聖の輝領一た道は時事に付各國
一言も異論を唱へばあふぬりして
傍觀するあり是其國の親理貫徹
せしむるあり

先年英佛の展覽會も多くの國
を産物を出して是を皆人眼を喜ば
せしむるあり其國の親理貫徹
せしむるあり

品物と信し、其の買、高買、を其
のあり、命、そのを、權、い、給、ふ、也、一、其
國、も、心、に、有、益、と、思、ひ、て、外、國、人、を
未、だ、お、び、ぶ、る、品、多、う、也、一、お、信、意
一、て、此、品、物、を、出、し、給、ふ、は、是、か、ら
必、ず、其、國、の、得、益、と、端、を、開、え、ん、是
等、の、事、を、委、し、人、を、選、ん、て、其、品
を、權、一、の、給、え、ん、と、其、買、の、事、易、く

事、ある、也、一、外、國、人、を、田、地、も、好、む、
親、交、せ、び、さ、何、等、の、奇、品、珍、物、ある、の
或、を、お、び、さ、也、
右、の、意、を、察、せ、り、て、返、日、外、務、省、に、
「工、置、一、面、了、充、分、權、威、ある、人、を、權
任、一、給、じ、仕、者、と、協、議、せ、ん、事、を、欲、を
先、年、英、佛、一、出、し、給、ひ、し、品、物、を、前
大、に、一、面、了、其、の、利、益、を、お、び、さ、也、」

バ積込を扱ひ入替々莫大あはしむるも
交々物者右の撰任に官負と認^ち極^くを
令一兩國の利益にあはれを撰人と
是且右撰任^官負^官字^官と人数展覧と
手續^手採^手て撰任し方とあり後^後可^可法^法が
連^連其^其趣^趣を奏一この契定^{契定}をなす

副書曰
英伸言利益ありしし道理はるし利
益ある譯^譯字^字終^終了^了解^解致^致一を過^過バ明^明後^後固^固之^之旨

陛下、差を過し

寺島曰
口及し展覧を何ヶ月に開^開展^展

せらるるか

公使曰
六月、^同悔^悔り^り後^後

副書曰

當地よりいつ迄一して望^望一しや

公使曰

未^未亦^亦三月し未^未國^國郵^郵船^船言^言う^う迄^迄也

寺島曰

今一ニヶ條の尋問及交々あり西^西傳^傳也

臣古王展覧しあり望し^望が^が々^々を^を大^大盛^盛大^大ふり

物者先年ロンドンよりし以其地之展覧あり
其後パリスにも又英ロンドン^米サンフランシスコにも
ありたるが各之展覧之目的を異にして今貴國
に開くも何等の旨趣にして目的は異あり知
り何

公使曰

其旨趣異なり似るも亦大に異あり
是との展覧を各其目的を異にして
も諸物價を定むるを主として各國に

産を以て之を示しあり勿論の
なり右商業に關する物件ハ悉く之を
以て又學術進歩同化を促す^{をせしむ}
是との展覧を國を分つて區分し各物
し一國づかち置きたるは及ばず物
種別を以て區分し機械は其の
あるものを機械の區中にあり織物も
織物の區中にあり各區中其目

録を夕務省作し法運用の則とし
 悉く記したる書ありて自ら学問も亦り
 都立最も早きや國より世界中博識
 のもの之を展覽場として講談会解し
 概概所々拆跡扱も集りて各を區別し
 中言理能明白に示解又討論をも亦
 是と其國より英佛その他品物を出
 寺島曰
 可神ししを政府より出さば一也将商人より

出さば一也

公使曰

商人よりも利益のを得る政府よりも学
 術進歩のを得る出さば一也
 出さば政府商人の區別ある事
 我政府も磁器の製造場を有し既に
 此製造場しを以て我政府保護賞を
 得たる事もあり都立展覽場を改
 府より官負をせしめて各を自國

商人を管轄し、其のするべき法
を定むるなり

寺島曰
プレゼンツト、プロテクトル、協定規則書、

又、たりき法めり

公使曰
其、たて居、場を建築し、所物を

排列する、區分を、交置ホを、し、又、

排り、官、負、を、各、國、帝、に、見、才、各、省

に、長、官、あり、と、い、ま、す、し、て、五、扱、ふ、を

各國、博覽會、に、出、て、陳、列、せ、し、

よ、の、身、を、撰、い、多、課、を、ま、て、五、扱、を、

展、覽、を、開、く、に、し、バ、政、府、に、ま、て、現、在、の、利

ある、を、ま、に、多、分、の、入、費、を、う、る、也、し、

公使曰
其、五、展、覽、の、入、費、を、九、百、万、ギ、ン、

英、六、十、万、パ、ウ、ン、ド、
法、三、百、万、ド、ル、と、定、め、たり

寺島曰
政府、に、換、あ、り、各、國、より、人、民、集、會、を、

輻、耳、を、し、バ、も、府、下、人、民、に、た、り、と、大、に、利、潤、を、

公使曰

夏時見物と来るよの秋維也細府と
集道バ右由も狭きこゝろく人おこり
祿府と立て祿あるの用と供を

寺あり

維也細の人口六七十万と多たりる

公使曰

ハ十万口あり云々他も新祿と作り
才五字御管膳を賜いて退散

子安少記執筆